ICHIKAWA INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION NEWS　市川市国際交流協会会報

I.I.A.ニュース

No. 65
2017.9.21

暑い夏に熱い交流：海外で、市川で

この夏は交流活動が活発です。

ガーデナ市委員会は30人の市民団が公式団とともにガーデナ市を訪問し、丸2日間、市民、子供たちと会話し、食事し、視察し、有意義な交流をしました（写真①②）

楽山市からは8人の青少年が来市し、ホームステイをしながら、市内の高校を訪問し、夏休みながら熱い歓迎を受けました。その後千葉をぐるっと一周り。花火、ディズニーランド、鴨川シーワールド、市川の梨園なども楽しみました（写真③）

そして日本でこれから頑張ろうという子供たちには、少しでも早く日本に慣れて、楽しい学校生活を過ごせるようにと、サバイバル日本語教室が開催されました（写真④）

詳しくは次頁以降で。

◆もくじ◆

P２・・・市川市民団ガーデナ市を訪問
P３・・・総合防災訓練に参加
P４・・・楽山市青少年団来市、浴衣着付け、茶話会
P５・・・サバイバル日本語教室、日本語ボランティア教師養成講座
P６・・・浴衣で七夕、メダン3題
P７・・・わたしの母国、わたしの市川
P８・・・イベント情報、現況報告、在住外国人数
別刷り・　新入会員

編集・発行：市川市国際交流協会広報委員会
発行責任者：篠原　剛
〒272-0021
市川市八幡2-1-7　第一藤ビル2F
Phone:　047（332）0100
Fax:　　047（332）0101
email:　info@iia21.jp
URL:　　http://www.iia21.jp

市川市民団ガーデナ市を訪問

1962年の姉妹都市締結から55年、今年は5年毎の相互訪問の年にあたります。

市川市民親善訪問団30人は、7月6日から13日まで、カリフォルニア州の国立公園（ヨセミテ、セコイア＆キングス・キャニオン）を観光後、ガーデナ市に3日間滞在して、記念行事への参加、ガーデナ市民との交流を行いました。

折から、カリフォルニアは熱波が襲来し、暑い夏となっていましたが、日本とは違い湿度が低く、団員一同元気に行動しました。

最初に訪れたサンフランシスコでは観光と自由行動日のオプショナルツアーなどでリラックス、霧が多い夏のサンフランシスコですが幸い天気にも恵まれました。

そして3日目、この旅行の観光ハイライトであるヨセミテ国立公園へ向かいました。セントラル・バレーと呼ばれる大平原を走り、車窓からは乾期で黄色くなった草原にアーモンドやレーズンを栽培する農場、牛の酪農場に交じってIT関係の企業の進出も見られ、時代の変化を感じさせました。

①

国立公園に入り、エル・キャピタン(世界最大の一枚岩)、ブライダル・ベール滝（花嫁のベールのように滴る）などの定番の観光に加え、国立公園主催のグレーシャー・ポイントツアーに参加し、ハーフ・ドーム（ドームを半分に割ったような巨大岩（写真①））ヨセミテ滝（落差739mで北米一）を含む大パノラマに息をのむ感動を味わいました。

②

翌4日目は、もうひとつの国立公園セコイア＆キングス・キャニオンを訪れ、地球上の生物体の中で最も体積が大きいシャーマン将軍の木（写真②）やアメリカのクリスマスツリーと呼ばれるグラント将軍の木など見物しました。この国立公園は日本からのツアーに組み込まれることは少なく、これからの観光地という感じです。

7月10日からは、いよいよガーデナ市での交流です。先着していた公式代表団(市川市長はじめ6人)と合流し、記念行事に参加しました。最初の訪問は、186ストリート小学校です（写真③）教育方針が高く評価され、州のゴールド・リボン賞を受賞している学校で、昨年には富山県で開かれたシンポジウムに参加、その折に市川市役所を訪問したとのことで、今回の受け入れにつながったようです。夏休みにも拘わらず、多くの生徒が出迎えてくれ（写真④）子供たちの歌や踊り、日本人コミュニティの太鼓パフォーマンスなどを披露してくれました。

③

次にアーサー・ジョンソン公園でのサマー・キャンプを訪問しました。夏休みの子供たちに様々なアクティビティを体験してもらうサマー・キャンプがこちらでは盛んのようです。ここでも多くの子供たちの歓迎を受けました。日本語が出来る子がソーラン節を歌ってくれたり（写真⑤）踊りを披露してくれたり、一生懸命歓迎してくれました。市民団もお礼に折紙教室を開き（写真⑥）簡単な折紙作りを体験してもらいました。

④

⑤

⑥

そして、記念行事のメインである市庁舎訪問です。着くやいなやブラスバンドの演奏とたくさんの子供の列に驚きました。子供からメッセージ・カードを受け取り、ハイ・タッチしながら市庁舎内へ入りました。議場では、セルダ市長をはじめ、議員、市要職の方々が出迎えてくれました。市長の歓迎の挨拶、議員、市要職者の紹介、市川市長、IIA会長の挨拶、記念品交換（写真⑦）記念植樹（写真⑧）などの後、庁内を視察、市川から贈られたという書道の文字（写真次頁①）がどういう意味なのかと尋ねられ、誰も答えることができませんでした。帰国後IIA会員の春名氏に聞くと意味が分かりました。文末に調査結果を掲載しています。

⑦

⑧

この日の夕刻、記念夕食会がナカオカ・コミュニティ・センターで開催され、姉妹都市協会会長はじめ会員、市民の方々、青少年たちと歓談しました。メキシコ・ダンスや南行徳花組の皆さんのパフォーマンスに次いで、日本から持参したうちわと手拭いを配り、会場全員で盆踊り（東京音頭、炭坑節）を楽しみました（写真②）見様見まねで踊りの輪に入ってくれたガーデナ市民の皆さんに感謝。

①

11日は、午前中のハリウッド観光の後、ガーデナバレー日本文化センター（JCI）を訪問。ここは様々なプログラムを通じて日本人、日系アメリカ人の文化、歴史などを後世に継承していく目的で40年以上前に設立された施設です。ここでも子供たちのためのサマー・キャンプ“楽しいキャンプ”が開催中で、手造りの編み機でリリアンのような織物を作る教室や剣道のけいこの様子（写真③）

②

③

④

を見学しました。

ガーデナ市最後の夜は、姉妹都市協会会長トゥルヒーヨさんの母親、ヴァージニア・アルマラズさんの家でバーベキューのサヨナラタ食会に招かれました。広い裏庭に椅子とテーブルを並べ（写真④）、ガーデナの人たちと合わせて６０人ほどの夕食会となりました。市川に来られた懐かしい顔、青少年代表団で来市した青年たちなどと再会し、各テーブルで交流の輪が広がりました。市民団からは、お礼として簡単な茶席を設け、抹茶とお菓子でおもてなしをしました。あたりが暗くなり、風がひんやりと心地よい時間となり、再会を期してお別れしました（写真⑤）

⑤

今回のガーデナ市での交流は、いつもながらの手造りのもてなし、いつも以上と感じた歓迎ぶりなど、とても印象に残るものでした。受入準備の中心となって活躍されたトレイシー・ナカオカ市川委員長（写真⑥）はじめ、市長、議員、協会長、会員、市民の方々に心からお礼申しあげます。“熱いおもてなし”をありがとう！　　（山本　怜）

⑥

【市庁舎に飾られていた書】

右から読み「駕天龍」BC350年頃の楚辞に見られ、龍に乗って天に昇り、駆けめぐるの意で、転じて天下を取るという意味もあります。この書を書いた梅原清山(95才)は書道界の第一人者で文化勲章受章者の青山杉雨の弟子、読売書法会の重鎮。また左下にある篆刻は「襲明」とあり老子の言葉で、大道を明らかにするという意味。作者は小林斗盦で日本篆刻界の第一人者にして文化勲章受章者。ということでこれは非常に貴重で高価な書です。　　（春名　英徳）

行徳で総合防災訓練に参加（IIA協力）

日本では30年以内に70%の確率で大地震が発生すると言われています。我々は少しでも備えなければなりません。

8月27日に行徳駅前公園で総合防災訓練が開催されました。IIAもベトナム、シリア、中国などの仲間たち20人余りで初期消火、応急救護、煙中脱出訓練（写真⑦）などに参加しました。ふだん体験できないことばかりなので皆興味津々で真剣です。

そのあとは千葉県北西部を震源とするM7.3、震度6強の地震が発生したという想定で訓練開始です。消防隊が倒壊家屋に電動ノコを使用して侵入し、被災者を救出します。その脇では被災したビルの3階から、外からのはしごを使って住民を救護した後、発生した火事を消防車で消火する、本番さながらの活動（写真⑧）に皆息を詰まらせて見入ります。最後は炊き出しの非常食と市川特産の美味しい梨をいただいて、訓練は終了しました。

防災の重要性を認識しながらも、備えがおろそかになりがちですので、外国人にとっても、日本人にとっても体験して防災を覚えることができた貴重な訓練でした。

（広報委員長：篠原　剛）

⑦

⑧

楽山市青少年代表団来市

7月31日、猛暑が続く夕刻に市川市へ楽山市青少年代表8人（女子6人、男子2人）と団長の張学如楽山市旅僑省連合会副主席兼秘書長と引率者の陳平楽山市第一高等学校副校長の10人が到着しました。

市川市と縁の深い郭沫若翁が学んだ高等学校の生徒達と副校長で爽やかで知的な皆さんでした。

仮庁舎の会議室で対面式がありました。張学如団長は1998年、第1回青少年交流の際に通訳をしてから今日に至っているが、友好的な交流が持続的に末永くと切に願っていると話されました。陳平副校長からは交流が友好的になるように気を配る事、そしてコミュニケーションを学ぶ事が今回の目的ですと挨拶がありました。生徒8人の紹介のあとに、ホストファミリー4人(小林、尾崎、佐藤、広瀬/敬称省略)との対面と記念撮影となりましたが、一瞬のうちに打ち解け合い仲良くなっておりました!!!

翌日から、市長・市議会議長表敬訪問、昴高校交流訪問(管楽器二重奏鑑賞、卓球対戦、日本伝統文化・お茶席の体験、高校生クイズ対戦)、都内視察、県内視察一泊旅行(鴨川シーワールド、御宿花火大会、勝浦海中公園、濃溝の滝、海ほたるSA)市川市動植物園と梨狩り、市川納涼花火大会鑑賞(自由参加)フリーデイ体験、学生会意見交換会、ディズニーランド遊覧見学、送別会(J ホテル)、郭沫若記念館見学（写真①）成田山新勝寺見学と盛り沢山でしたが病気や怪我もありませんでしたので、非常に安堵しました!!!

さて、御宿ではIIAで用意したゆかたに着替えて最寄り駅から電車に乗り会場の御宿海岸（月の砂漠）で涼しい海風の中、花火大会を楽しみました。

ホストファミリーでは、フリーデイで、自宅で手作りの竹の装置で素麺流しをしました。そして、鰹節の出来るまでを図解と実物を用いて削り、素麺の出汁のレシピを実演、日本食文化の代表の一つを説明しましたので、感激しあい、楽しく味わう事が出来ました。

また、中国茶と日本の抹茶の点前を交流しあい、茶会を通して喫茶の楽しいひとときを過ごしました。また、ホストファミリー宅で、もう一度、ゆかたに着替えて記念写真のアルバムを作成し、渡したら喜んでくれました。色々とホームステイで楽しみを分け合って、そんな中で優しさの気持ちが滲み出て、お互いに胸が熱くなりました。

送別会では、入場した青少年団を大勢の参加者が熱烈に出迎えたので、あまりに高まった熱気で会場が破裂してしまうのではと感じました。楽山市の2人の女子生徒の優美な中国近代ダンス（写真②）や2人の男子の歌声と一人の女子のギターとのコラボに会場から歓声が上がりました。

見送りは 早朝から猛暑でしたが皆さんは元気に手を振り市川市をあとにしました。

日中友好がいつまでも続きますように願ってやみません。

（佐藤和子）

①

②

浴衣の着付けをお手伝い（CUCサマープログラム）　（IIA協力）

海外の学生を招き日本の経済や文化を学ぶCUC(千葉商科大学)の「サマープログラム」で海外参加学生に浴衣を着てもらう体験が7月26日に行われ、今年もIIAが協力することになりました。IIAで礼法の講義などもお願いしている井上馨さんの手配で男女50人以上の浴衣と帯を用意、20人以上のお手伝いの方々が商大の学生と着付けを行いました。

男子学生はすぐに着付けが済み、サムライの格好をするなどして楽しんでいました。女子学生は、今年から始めたヘアーセットなどもあり時間がかかります。帯は学生では結べず、お手伝いの手に頼っていました。今回の参加学生の中にローゼンハイム市からの女子学生が2人いました。着付けが終わったところで感想を聴いてみると、「とてもきれいで、気に入った」とニッコリ。最後は全員で記念撮影。

(広報委員　山本　怜)

大和なでしこのように素敵です

第一回茶話会　（外国人委員会）

29年度外国人委員会第一回茶話会が6月18日全日警ホール（市川市八幡市民会館）にて行われました。

先ず、28年度のイベント、活動をチェックして反省を踏まえて話しました。特に、ハロウィーンパーティー、新年パーティーが多くの皆様に喜ばれました。今後、どうすればもっと楽しく日本にいる外国人に各国の文化、食文化、習慣などを紹介できるかと皆で一緒に考えました。

そして、今年に予定しているイベント、活動の内容を委員長の田中アイアンさんが皆に説明しました。外国人委員会にいる皆さんの頑張りにより、会員が増え続けていますけれども、今年も外国人委員会はもっと頑張るつもりです。

（鈴木　迎慶）

開催行事を真剣に話し合う

夏休みに日本語に慣れよう　（IIA主催）

サバイバル日本語教室2017

この季節がやってきました。今年は特に来日間もない小・中学生に少しでも日本語と日本文化に慣れてもらい、新学期から、スムースに学校に入っていけるようにと、8月19，20の両日この教室が開催されました。今回は、教室へのアクセスもいいようにと、行徳（市立7中）（写真①）と本八幡（市川日本語学院）（写真②）の2会場で8か国、28人の子供たち（25人は本年4月以降の編入学）と40人のボランティア、通訳が集まり、熱心に勉強しました。

①

初日は学校ですぐに役立つ数字、時計、時間割、簡単な動詞を各グループがレベルに合わせて工夫を凝らして勉強しました。２日目はバスで市川歴史博物館に行き、自然災害の多い日本で少しでも安全に暮らしてもらおうと火事、地震、津波発生時の対処と避難方法を体で覚えました。その後、楽しいランチです。博物館では丁度柏出身の浮世絵師が描いた江戸期の市川周辺図の展示がされていました。

②

③

千葉街道のすぐ南が海であったり、稲荷木、大和田地区が、まだできていなかった江戸川放水路上にあったりと興味津々。

午後は今が旬の梨畑に囲まれた、市川少年自然の家に行き、使わなくなった梨の木を輪切りにした部分に思い思いの絵を描き、ブローチにしました。皆自分の作品に満足気のようでした（写真③）

IIAは来日しても、日本語が不自由ですぐに学校に入れない子供のためにいろいろな取り組みをしています。この教室もその一環ですが、その他教育委員会との協力による小中学校就学前児童の日本語指導や日本語教室委員会による児童の指導などを行っています。

（広報委員長：篠原　剛）

日本語ボランティア教師養成講座開講　（日本語教室委員会）

待ってます！　フレッシュなボランティア教師

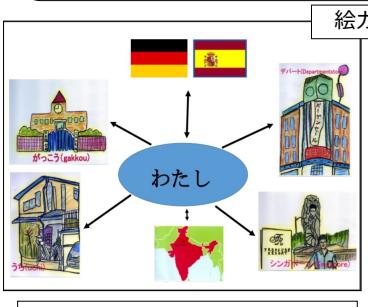
市川市の在住外国人が15,000人を超え、日本語を習いたいという外国人が増え日本語教室の必要性が高まっています。現在、IIA日本語教室は市内に19教室あり、常時120人以上のボランティア教師が熱心に学習支援を行っています。しかしボランティア教師の諸般の事情による減少傾向は深刻な問題となりつつあります。

市川市はこれらのニーズと問題に応えるため今年の10月から来年1月まで土曜日の午前、計12回、掲題の養成講座をアイ・リンクルームで開講し新たなボランティア教師を育成する予定です。

募集の詳細内容は市川市「広報いちかわ」（８月５日発行）に掲載され多数の応募があり8月末で募集を締め切りました。抽選で選ばれた定員の24名は、合計36時間の講義を履修した後、希望者はIIA日本語教室で活躍していただくことになります。

IIA日本語教室委員会一同フレッシュなボランティア教師の入室を心待ちにしています。（加澤　和三）

36時間の講義（受講経験者ノートより抜粋）
①講義は直接法という手法で行われ学習者の母語を使わず日本語だけで授業を進めていきます（語彙の理解は絵カード、写真、ジェスチャー等を駆使）
②授業の内容は名詞文「ここ、そこ、あそこ」簡単な動詞文「いきます、きます、かえります」形容詞、動詞の活用と段々複雑になっていきます。
③レッスンのまとめとして授業の教案作成、模擬演習があり、いかに魅力ある授業にするかが試されます。



「いきます・きます・かえります」

絵カード

「～でたべます」

浴衣で七夕　（バディーズ）

今日は7月7日。バディーズは夏祭りの定番、浴衣を着ました。日本人の私たちもなかなか浴衣帯を締める経験は少ないのですが、自分で着ることにチャレンジしました。バディーズの中の着付けの達人たちから、その技を伝授してもらいました。

まずは、色彩豊かな浴衣と帯の組み合わせを考える作業からです。外国人メンバーたちも自分に似合う組み合わせを真剣な表情で考えます。組み合わせができたら浴衣を着て帯の結び方を学びました。様々な結び方から比較的、一人で結びやすい方法をいくつか教えていただきました。また、長時間着用していると緩みやすくなるので、達人たちによって結び方の裏ワザなども教えてもらいました（写真右）

組み合わせはみんな様々で、合わせ方によって印象が異なるのを楽しみました。やはり、みんな自分らしい似合う組み合わせで大満足な様子でした。

この日は七夕でもあるので、短冊に願い事を書き、笹に飾りつけをしました。平和や健康、笑顔など素敵な言葉がいっぱい並ぶ七夕の願い事でした。みんなの願い事がかなうといいな。

最近は街中で浴衣にチャレンジしている外国人旅行者や若者も多く、日本文化が浸透していることをうれしく思います。バディーズの外国人メンバーの学ぶ姿勢からも私たち日本人も刺激を受け、日本の伝統を楽しみ、大事にしたいと改めて感じました。

最後はみんなで記念撮影をして七夕祭りを満喫しました。(和田　陽子)

インドネシア料理と伝統舞踊を楽しむ　（メダン市委員会）

インドネシア料理教室

7月22日、市立新浜小学校で、3人のインドネシア人のお母さん方から、お国の料理の手ほどきを受けました（写真①）メニューは、チャカンクン（空心菜炒め）テンペゴレン（揚げテンペ）ソト（お椀のご飯の上に、鶏肉や野菜をのせ、インドネシア風スープをかける）ビストゥバン（パンとバナナをココナッツミルク味の卵に浸して蒸す）の４品です。

テンペは、大豆をテンペ菌で発酵させた発酵食品です。納豆のような臭気や、糸を引くこともなく、味も淡泊で、食べやすいものです。

クーラーも扇風機もない家庭科室で、20人の参加者は、楽しく話をしながら、暑さにもめげず大量のテンペを揚げたり、お菓子を蒸したりしました。ガランガルなどの東南アジアの香辛料を使ううちに、インドネシア料理独特の臭いに変わっていきました。

①

授業を終えた日本語教室の子ども10人、先生ご父兄6人の皆さんが「美味しい」とたくさん食べてくれました。

今回のインドネシア料理は、インドネシアの3人のお母さん達の優しさがお料理に込められていたように感じられました。

ケチャ

8月にケチャとバリダンスの鑑賞をしました。

ケチャは、4日新宿副都心の高層ビルの一角で行われました。強固な共同体を堅持し続けているインドネシア・バリ島の農村で生まれた、合唱舞踊劇です（写真②）

②

100人程の半裸の男性が燃えさかるかがり火を中心に円陣を組み「チャ、チャ」という16ビートのリズムで叫び声を上げます。

このリズム合唱とインドの古代叙事詩「ラーマーヤナ」の物語（神の化身のラーマ王子と悪魔の王ラバナとの戦い）を融合させます。合唱の一糸乱れぬ素晴らしさには感動しました。

また、踊り手のきらびやかな衣装、ガムランのハイスピードの演奏には驚きでした。

日本人のみでケチャを実現する事で、個人主義が大手を振っている日本で、人間本来の共同体『絆』を再構築出来るのではと上演したそうです。

バリダンス

6日には「阿佐ヶ谷バリ舞踊祭」で、花を撒いて歓迎する踊り、次々とお面をつけかえて、違ったキャラクターを演じる踊りなど、多種にわたるバリダンス（写真③）を鑑賞しました。

バリの稲作には黄金とも言える雨が降り注ぐ様を描いた「黄金の雨」もガムラン楽器で披露。金糸が多く使われた華やかな衣装は素晴らしく、また日本にはない踊り手の独特な目の動き、首の動き、極度に外側に反る手の指、中腰で踊り続ける姿にも感心しました。

③

(青野　雅子)

シリーズ

わたしの母国、わたしの市川（10）　インドネシア

Halo, kenalkan saya Ica dari Indonesia.
Banyak orang mengenal Indonesia dari keindahan alam Pulau Bali, namun sesungguhnya Indonesia memiliki ribuan pulau yang sama indahnya dengan Pulau Bali. Indonesia dikenal sebagai negara kepulauan terbesar di dunia yang berada di Asia Tenggara dengan jumlah total pulau 13.466 buah. Indonesia juga kaya akan ragam budaya, suku bangsa dan bahasa. Tahukah Anda, di Indonesia terdapat 300 suku bangsa dan 742 bahasa daerah yang dipersatukan oleh satu bahasa nasional yang disebut Bahasa Indonesia, tanpa Bahasa Indonesia kami tidak bisa berkomunikasi dengan suku lain. Letak negara Indonesia ada di antara benua Australia dan negara Singapura, Malaysia, Brunei Darussalam, Timor Leste, Papua New Guinea, dan Filipina. Uniknya letak Indonesia yang berada di garis khatulistiwa, mempunyai 3 perbedaan waktu yang salah satunya sama dengan waktu Jepang.
Indonesia yang beriklim tropis, hanya punya 2 musim sepanjang tahun, yaitu musim hujan dan kemarau. Karena beriklim tropis, Indonesia menjadi kaya akan hasil alam, baik buah – buahan, rempah - rempah maupun aneka satwa yang sangat berbeda dengan kekayaan alam Jepang. Salah satu hasil alam yang paling favorit di Indonesia adalah buah durian. Buah durian lokal Indonesia berbeda rasa dengan buah durian dari negara lain. Cara penjualan buah durian di Indonesia tidak seperti di Jepang yang sudah dikupas dan siap makan. Di Indonesia, jika mau makan durian, kita beli buahnya utuh dan harus kupas kulitnya sendiri dengan cara menginjak kulit durian sampai kulit tersebut terbelah. Bila beruntung, dengan satu injakan kulit tersebut bisa langsung terbelah, bila kurang beruntung, kita harus injak berkali – kali sampai terbelah.Bagi saya ini adalah pengalaman makan durian yang tidak pernah saya temui di Jepang. Selain buah – buahan, Indonesia punya tujuan wisata alam yang sangat mempesona. Keindahan wisata alam sudah sangat terkenal di dunia adalah keindahan Pulau Bali, tapi saya lebih suka memperkenalkan wisata alam pegunungan yang unik di ujung Pulau Jawa.　　（原文：一部を掲載）

はじめまして、私はイチャです。インドネシアから来ました。インドネシアと言えばバリ島の自然の美しさを思い出します。バリ島の美しさは世界的に有名ですけど、インドネシアにはバリ島のように美しい自然がたくさんあります。オーストラリアと東南アジアの国々に囲まれて、インドネシアの隣はシンガポールやマレーシアや東ティモールなどです。インドネシアには13.466の島があり、世界で一番大きな島嶼国です。そして300の民族と742の地方語があってインドネシアは様々な文化と習慣を持っています。たくさんの違う地方語があり、それぞれの言葉は全然通じないのでインドネシア人は第一言語としてインドネシア語でコミュニケーションを取ります。

赤道付近に広がっているインドネシアには三つのタイムゾーンがあります。そのタイムゾーンの一つは日本の時間と同じです。インドネシアのパプア州と日本の時間帯は同じです。赤道付近に広がっているので、インドネシアは熱帯気候の国で色々な自然と果物と動物に溢れています。トロピカルフルーツの中では、ドリアンが一番好まれています。ドリアンを食べたい人はまるまる一個を買って足でドリアンの皮が裂けるまで踏みます。ドリアンが好きな人にとってこのドリアンの食べ方はとっても楽しくて面白い体験です。

自然体験旅行についてはカワーイジェンとカリムンジャワ島をおすすめします。カワーイジェンは東ジャワにあるカルデラ火山です(写真左)。カワーイジェンの見所はカルデラ内で、美しい青い炎を一年中見られます。もう一つはカリムンジャワ島です(写真右)。中部ジャワにあるカリムンジャワ島はきれいな海に囲まれています。そこで有名なアクティビティは鮫の子と泳いだり、またビーチでは鮪のバーベキューを食べることが出来ます。時間があったら是非インドネシアへ来てください。

私は日本人と結婚してから市川市に住むと決めました。市川駅から私の住むところまでは1.5㎞だけです。市川市はいい所で住みやすいと最初から感じました。市川市の良いところはそんなに大きくない町ですが、何でもあるし外国人に対して市川市の市民は差別しないし、職場に行く距離もあまり遠くないことです。外国人として、日本語があまりわからなくて新しい場所に住むことは心配で一杯です。これが中央図書館のIIA日本語教室に2年間通った理由です。IIA日本語教室に参加したおかげで日本人の友達が出来て、カトリック教会のコミュニティーのメンバーになって、IIA日本語教室に参加するついでに、色々な本を借りることが出来ました。市川市の雰囲気は私の地元と同じぐらいと感じているので、私は年を取ってもこの町に住みたいと思っています。

（坂井　イチャ）

Japan Day 開催予告

さわやかな秋空の下で、日本伝統の文化、武道を在住外国人の方々とともに、楽しめるよう企画しています。皆様是非ご参加ください。

日時：11月4日（土）10:30～15:00

場所：市川市中央公民館、全日警ホール（八幡市民会館）、葛飾八幡宮参道脇

催しもの：獅子舞、餅つき、着付け、書道、華道、茶道、合気道、剣道など

主催：IIA　共催：市川市

（内容に変更の可能性がありますので、詳細はホームページで確認して下さい）

◆いちかわドイツデイ　（IIA協力）

日時　10月8日（日）、9日（月・祝）10:00～16:30
場所　市川市文化会館（アプローチ広場）
問合せ　IIA事務所　Phone: 047-332-0100
IIAブースでドイツコーヒーを販売します。

◆いちかわ市民まつり　（IIA協力）

日時　11月3日（金・祝）10:00～16：00
場所　大洲防災公園
問合せ　IIA事務所　Phone: 047-332-0100
IIAブースで世界の民芸品（ペルー、バングラデシュ）を販売します（12:30～16：00）

イベント情報　9月～12月

◆世界のフード＆マーケット（異文化・外国人委員会共催）

日時　9月23日（土）時間未定
場所　京葉ガスショールーム（八幡街回遊展の一環）
参加費　500円
問合せ　村井　美和　Phone: 047-379-3737

◆英語グループ交流会　(通訳・翻訳委員会)

日時　9月30日（土）　10:15～12:00
場所　市川中央公民館　第二会議室
問合せ　大内　圭二　wwkeijoven@honey.ocn.ne.jp

◆中国語教室 (楽山市委員会)

日時　10月10日（火）14:00～16:00
　　11月14日（火）16:00～18:00
場所　市川中央公民館第2会議室
連絡先　逸見　総一郎　email: sytc.hemmi@nifty.co

◆お茶・着付け（バディーズ）

日時　10月11日(水)　10:00～12:00
場所　男女共同参画センター　和室
参加費　300円
対象　外国の方及び付き添いの日本人
連絡先　加藤　Phone：047-322-7855

◆バスツアー（異文化交流委員会）

日時　10月14日（土）
目的地　香取市（佐原大祭）
会費　800円/大人、500円/小人
定員　40人
締め切り　9月23日（水）
申込先　村井　美和　Phone: 047-379-3737

◆講演「アラビア文化を体験してみませんか」（メダン市委員会）

日時　11月19日（日）　13:30～15:00
場所　市川中央公民館　会議室
講師　タリック氏（シリア）
参加費　無料
連絡先　西村　正寛　Phone: 080-8473-0253

◆もっと知りたいインドネシア　（異文化交流委員会）

日時　12月10日（日）　11:00～14：00
場所　市川公民館
講師　坂井　イチャ氏
参加費　未定
問合せ　村井　美和　Phone: 047-379-3737
場所、時間が変更になるかもしれません。HPで確認を。

現況報告（通訳・翻訳委員会）

平成28年度の繰り越しを含め13件（英語9件、依頼元は全て市川市役所）通訳・翻訳を実施しました。昨年の同時期に比べ、依頼件数は50%ほど減っています。今年度の特徴としては、オリンピック、パラリンピックの事前キャンプ地招致に関する通訳・翻訳がこの中の5件を占めています（8月末現在）（大内　圭二）

市川市在住外国人登録者数及び上位10カ国の人数　（2017年7月31日現在）

①中国	6,029（5,997）	②韓国　※	1,453 (1,453)	③フィリピン	1,440（1,407）	④ベトナム	1,074（　999）
⑤ネパール	1,003（　950）	⑥スリランカ	577（　561）	⑦インド	518（　493）	⑧タイ	450（　457）
⑨台湾	333（　320）	⑩米国	242（　257）				

総数111ヵ国15,338人（109ヵ国15,082人）　市川市総人口数484,073人（483,199人）
※朝鮮人76人（70人）は含まず